

「江戸店持ち松阪商人」の家に生まれた小津安二郎。9歳の時に一家で松阪へ移住し、19歳までの青春期をこの地で過ごしました。

特に、旧制中学時代、近所にあった「神楽座」という小屋で、校則違反を承知で観た数々の映画が、彼の生涯に大きな影響を与えました。

後に、監督は「もし、この小屋がなかったら、映画監督にはなっていなかっただろう」と語っています。

本企画展では、小津安二郎の日記などを基に、「映画監督・小津安二郎」が青春期を過ごした大正時代の松阪や、監督一家の生活の様子などについて展示します。



宇治山田中学時代の運動部（後列右が安二郎）



奥山京都駅長（友人）と安二郎



「神楽座」



安二郎 9歳の時



あさゑ（母）と安二郎



松阪市立歴史民俗資料館

〒515-0073 三重県松阪市殿町1539

TEL&FAX 0598-23-2381